

第30回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会①】

開催記録

1 開催概要

- 日時：令和5年4月5日（水）10：00～11：45
- 場所：JR東日本 現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・古関 潤一氏（ライト工業株式会社 R&Dセンター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区街づくり支援部 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・鉄道博物館 学芸部 ・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

部会①

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 28 回委員会（3/1）部会①議事録案
- ・ 資料 2：第 29 回委員会（3/15）部会①議事録案
- ・ 資料 3：調査の進捗について
- ・ 資料 4：4-2 街区について
- ・ 資料 5：泉岳寺駅改良事業における護岸遺構の出土について

2 議事要旨

2.1 部会①

(1) 開会

- 第30回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(事務局)

(2) 第28回委員会(3/1)部会①の議事録確認

- 修正指摘がないため議事録を確定する。(委員長)

(3) 第29回委員会(3/15)部会①の議事録確認

- 8ページの下から8行目の発言は小野田ではなく委員長である。(小野田委員)
 - ← 修正する。(事務局)
 - 他に指摘がないため、この修正をもって議事録を確定とする。(谷川委員)

(4) 調査の進捗について

- 交通局の調査において、国道に近い2号遺構の土留めの杭は、一度穴を掘ってから打ち込んでいることが分かった。2街区西側護岸の小規模な堤について、東西に延びていることは前回ご説明した。さらに東側、築堤本体方向に延びているか確認を行ったが、堤は3線化の石垣付近で切れていた。(港区)
- 東海道の護岸の場所で木の土留めが2列出てきた。東側は調査をして取り外し、西側は現在取り外しながら調査を行っている。両者の関係は明確になっておらず、西側が古い可能性もあるが同時期の可能性もあり、今後の調査で明らかになると思われる。(委員長)
- 水路の石垣部分の胴木に江戸時代の上水の木樋が転用されて使われている。木樋を掘り出して転用することは、2街区でも確認されているので興味深い。おそらく本管に近いものだったと思われる。(委員長)
- 2街区で発見された小規模な堤の延長を調査したところ、連続性する堤が発見された。3線化時の石垣と関係が不明だが、引き続き調査する。(委員長)
- 硬質粘土層を掘り下げた遺構は基本的に工事の部分粘土の採掘坑で、築堤の盛土に使う粘土をここで採掘したと考えている。泉岳寺駅改良でも同様のものが発見されている。(委員長)
- 穴を掘ってから土留めの杭を立てるという構築は、よくあるものか。(古関委員)
 - ← 杭は、打ち込みか穴を掘って設置するか、大きく2つの方法がある。地盤が固いこ

とと杭が鉛筆のように尖っていることから、穴を掘って設置して杭を打ち込んだと考えている。(委員長)

- 掘られた穴は下方になるほど細くなっているか。(古関委員)
← 断面の状況はこれから調査する。(港区)
- 胴木を木樋と推定した理由は何か。(小野田委員)
← 2枚の板を釘で貫くようにつなぐ造船技術が用いられていて、これは木樋の技術でもある。側板があった痕跡が残っていたためそのように判断した。(委員長)

(5) 4-2 街区について

- 調査範囲をできるだけ小さくしたいことと、今後の調査に向けて基本的に必要な情報を得ておくことが重要と考え、港区と協議をしていただいた。(委員長)
← 説明内容は港区として了承したので、本日委員会で承認いただければ詳細を詰めていく。(港区)
- 今後の調査で、次の調査が2023~24年度とあり、試掘自体も港区が行う。現状で港区の埋蔵文化財の業務がタイトであり、事業計画の上でも配慮してもらいたい。(委員長)
- 本調査について委員会で了解したこととする。(委員長)

(6) その他

- 前回委員会で説明し了承を得た資料について、新設躯体との関係性をわかるようにすべきという指摘を受けたため、修正したものを報告する。(東京都)
← 本件は前回委員会で検討し、現地保存が難しいため移築を視野に入れた形で記録保存するという結論を得ている。疑義がなければ本日の資料をもって前回委員会の委員会判断の根拠資料とする。(委員長)

= (部会②終了後(部会①・②共通)) =

- 文化財行政から意見をもらう。(委員長)
← 部会②の試掘調査が終わり、盛土も見つかったこと、感謝する。引き続き工事工程を検討してもらい、試掘も進めてもらいたい。(文化庁)
← 試掘については速やかに手続きを進めてもらいたい。部会①②の結果が相互に影響するが、行政側の作業体制を踏まえて優先度など調整してもらいたい。(東京都)
← 港区の文化財事業に協力いただき感謝する。改めて令和3年5月11日の要望書が根底にあることを認識し、引き続き対応してもらいたい。(港区)

(7) 閉会

- 部会①を終了する。(委員長)

3 議事録

3.1 部会①

(1) 開会

- (事務局) 第30回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 配布資料の確認
 - ・ オンラインの説明
 - ・ 進行の確認
- (事務局) 進行を委員長にお願いする。

(2) 第28回委員会(3/1)部会①の議事録確認

- (委員長) 議事録について修正等の指摘はあるか。
- (委員長) 何か修正があれば本委員会が終了するまでに指摘していただきたい。なければこれで議事録を確定する。

(3) 第29回委員会(3/15)部会①の議事録確認

- (委員長) 議事録について修正等の指摘はあるか。
- (小野田委員) 8ページの下から8行目、文化財行政からの意見とあるが、これは小野田ではなく委員長だと思うので修正していただきたい。
- (委員長) 何か修正があれば本委員会が終了するまでに指摘していただきたい。なければこれで議事録を確定する。

(4) 調査の進捗について

- (港区) 資料3について説明する。
新しい知見があった。交通局の調査において、国道に近い2号遺構の土留めの杭は、一度穴を掘ってから打ち込んでいることが分かった。2街区西側護岸の小規模な堤について、東西に延びていることは前回ご説明した。さらに東側、築堤本体方向に延びているか確認を行ったが、堤は3線化の石垣付近で切れていた。
- (委員長) 質問や意見はあるか。
- (委員長) ご報告いただいた交通局の泉岳寺駅改良工事の部分は前回も報告したが、東海道の護岸で木の土留めが2列出てきた。東側の木の土留めに関しては、調査をして取り外したという状況である。元々江戸時代に石垣積みの護岸があったが、高輪築堤を作る際に石を転用して、木の土留めを支え直したということが、文献資料でも確認できている。西

側の土留めに関しては、現在取り外しながら調査を行っている。東の土留めと西の土留めの関係はまだ今一つわかっていない。西側が古い可能性もあるが、同時期の可能性がないわけでもない。今後の調査で明らかになっていくものと思われる。水路の石垣の部分（写真の⑤⑥⑦の部分）は、石垣の下に不等沈下を防ぐために胴木を敷いているが、これは江戸時代の上水の木樋を使っている。通常、上水の廃止の際に木樋を掘り出すことはないと認識していたが、掘り出して転用しているということは、2 街区でも確認されているのでとても興味深い。木樋自体は大型のもので、おそらく本管に近いものだったのではないかと思われる。2 街区の部分で発見された小規模な堤について、東側の延長を把握するための調査を行った。同じように連続する小規模な堤が出てきた。3 線化の石垣との関係性はよくわかっていない。3 線化の石垣に壊されているのか、同時期のものなのか含めて引き続き調査をしていく。写真④の硬質粘土層を掘り下げた遺構については、粘土の採掘坑ではないかと考えている。築堤の盛土に使う粘土をここで採掘したと考えている。見つかったこと自体は興味深い。泉岳寺駅改良工事の部分でも同様のものが出てきている。

- (古関委員) 泉岳寺駅改良の資料 3-3 について、2 号遺構杭は穴を掘ってから杭を立てたという説明だが、このような構築はよくあるのか。
- (委員長) 杭は打ち込みか、穴を掘って設置するか、大きく 2 つの方法になる。ここは地盤が固いため、ある程度穴を掘って設置して、最後に打ち込んでいると考えている。杭自体は鉛筆のように尖っている。
- (古関委員) 掘った穴は、下のほうに行くにつれ細くなっているのか。
- (港区) 断面状況はこれから調査する。
- (小野田委員) 資料 3-3 の木樋だが、そう推定した理由は何か。
- (委員長) 1 つは 2 枚の板を舟板と同じような形で、釘で貫くようにつないでいる。釘を打ち込んだ後に、木の破片を詰め込み、釘を隠している。このような造りは造船技術であり、一方で木樋の技術でもある。これをひっくり返す。側板があった痕跡が残っており、これまで発掘されている上水の木樋と同様のものと判断した。
- (委員長) 他になければ次に進める。

(5) 4-2 街区について

- (事務局) 資料 4 について説明する。
- (委員長) 本件については、本委員会でも数回議論した。調査範囲をできるだけ小さくしたいことと、今後の調査に向けて基本的に必要な情報を得ておくことが重要と考え、港区と協議をしていただいた。港区から何かコメントはあるか。
- (港区) 説明内容で港区としては了承した。本日承認いただければ、詳細を JR

と詰めて進めていきたい。

(委員長)

質問や意見はあるか。

(委員長)

6ページの今後の調査について、次の調査が2023～24年度となっているが、今年度中に始めたいという意図か。

(事務局)

試掘調査を含め、なるべく早めに着手させていただきたい。

(委員長)

私から言うことではないが、試掘自体は港区が行うことになるため、現状で港区の埋蔵文化財の業務がタイトになっているので、事業計画の上でも配慮していただきたい。

(委員長)

5ページに記載されている調査について、本委員会で了解したこととする。

(委員長)

他になければ次に進める。

(6) その他

(委員長)

前回の資料の修正ということで、資料5が提示されている。説明していただきたい。

(東京都)

3月15日の臨時会で説明した資料の修正として、資料5を説明する。結論としては、前回の委員会で現地に保存できない旨を説明し、了解をいただいた。現地保存ができない理由として、現在行っている下水の函渠の切り回し部分にあたることと、新設する駅の躯体に当たるためと説明をさせていただいた。新設躯体との位置関係等がわからないという指摘を受けたため、追加、修正したものである。

(委員長)

質問や意見はあるか。

(委員長)

本件については3月15日の臨時会で検討しているが、現状、下水幹線のルートの変更の問題と地下鉄泉岳寺駅の改良工事の問題により、現地に残すことは難しいとのことだった。移築を視野に入れた形で、記録保存の調査をおこなっていただくこととの結論を得ていたが、資料にわかりにくい部分があったので、今回修正をしていただいた。

(委員長)

よろしければ、この資料をもって3月15日の委員会判断の根拠資料とする。

= (部会②終了後 (部会①・②共通)) =

(委員長)

文化財行政から意見をいただく。

(文化庁)

部会②の第3工区の試掘調査が終わるとということで、盛土も見つかりがたい。引き続き工事工程を検討していただきたい。資料3についても、どのような遺構があるのか想定ができてきたので試掘に進んでいただきたい。

(東京都)

試掘については速やかに手続きに入っていただきたい。部会①②の結

果が相互に影響するが、行政側の作業体制を踏まえて優先度などは調整していただきたい。

(港区)

調査の進捗をこの場を借りて共有できることは、ありがたい。引き続きよろしく願いしたい。昨年度は鉄道開業 150 周年 として、港区の文化財事業にご協力いただき感謝する。情報共有として、議会での教育長答弁を紹介する。高輪築堤に関し教育長答弁が昨年度 2 回あった。いずれも 5・6 街区の完全保存と公開についてという質問に対する回答である。「令和 3 年 5 月の高輪築堤跡の現地保存を考慮した開発計画を策定するよう教育委員会として要望書を発出していると共に、文化庁・東京都教育委員会と協力して取り組んでいる。引き続き関係機関と協力して対応していく。」といった内容の答弁をしている。改めて令和 3 年 5 月 11 日の要望書が根底にあるということを確認していただき、引き続き対応していただきたい。

(委員長)

これで終了する。

(7) 閉会

(委員長)

その他は何かあるか。

(委員長)

他になければ部会①を終了する。

(事務局)

本日はお忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。

以上